

確率論 歴史年表 篠本 滋 2004/03/26

	<p>中世キリスト教の支配下, アウグスティヌスの神学~"原因なくして結果なし", "すべては神の摂理に従う"~偶然性の研究や偶然ゲームは"不敬行為"と見なされた.</p> <p>トマス・アクィナス(1225-1274)~“蓋然性(必然性)と偶然性の理論”: 偶然論の容認.</p>
ルネッサンス 13C-15C	<p>カルダノ(1501-1576)「サイコロ遊び」 ~3個のサイコロを投げて少なくとも1個「6」の目が出る確率は1/2か91/216か?</p> <p>ガリレオ・ガリレイ(1564-1642)~順列と組み合わせの違いを認識.</p>
1600 関ヶ原の戦い 1600	
デカルト 1596-1650	
ニュートン 1643-1727	<p>--- 確率論の始まり --- パスカル(1623-1662)~"二項分布" フェルマー(1601-1665)~"多項分布" ホイヘンス(1601-1665)「サイコロゲームにおける計算について」 ヤコブ・ベルヌイ(1654-1705)「推論術」~順列・組み合わせ, 大数の法則 ヨハン・ベルヌイ(1667-1748) ド・モアブル(1667-1754)「籤(くじ)の測定について」, 「偶然論」 モンモール(1678-1719)「偶然ゲームに関する解析試論」 ニコラス・ベルヌイ(1687-1759)</p> <p>ベイズ(1702-1762)~"ベイズの定理"</p> <p>--- 古典確率論の集大成 --- ラプラス(1749-1827)「確率の解析的理論」 「確率に関する哲学的考察」, "ラプラス変換", "特性関数" 「偶然というものには存在しない. 一見偶然とみられる現象も, 我々が自然を支配する法則について無知であるからにすぎない. 我々の知識は完全ではなく, 逆に全く無知でもないところに確率論が成立する余地がある. 」</p>
1700	
産業革命 1760-1830	<p>ガウス(1777-1855)~"最小二乗法", "正規分布"(ガウス分布)</p>
1800	
ダーウィン 1809-1882	<p>ポアソン(1781-1840) ~"ポアソン分布" ボルトキヴィッチ(1868-1931)~"プロシア陸軍において馬に蹴られて死んだ兵士数"</p> <p>ベルトラン(1822-1900) ベルトランのパラドクス~"円の上に一本の弦を「無作為」に選ぶ"</p>
黒船来航 1953	<p>--- セントペテルスブルグ派 --- チェビシェフ(1821-1894)~"チェビシェフ不等式" マルコフ(1856-1922)~"マルコフ過程"</p>
1900 日露戦争 1902-1905	<p>ボルツマン(1844-1906)~"ボルツマン方程式" アインシュタイン(1879-1955)~"ブラウン運動の理論"</p>
太平洋戦争 1941-1945	<p>コロモゴロフ(1903-1987)~"測度論に基づく確率論" ウィーナー(1894-1964)~"ウィーナー・ヒンチン定理", "ウィーナー過程" 伊藤清(1919-)~"伊藤型確率微分方程式" ストラートノビッチ(1930-)~"ストラートノビッチ型確率微分方程式"</p>
2000	